

自然っ子クラブ



田植え

所 在：川口市

構成員：42世帯

1年で15回の自然体験イベントをしています。親子での共通体験が、会話を弾ませています。「グラウンドワーク川口」に団体に加入しているので、その活動が6回あります。他には、原始パン作り・自然観察（稲の穂を見る会・虫の声を聞く会など）草木染め・ものづくり・ツリークライミングなどを行っています。被災地支援もしています。

「子どもたちの感性を育てたい。」

～親子で自然体験～



受賞の取組

- ・夜遊びツアー観察会や稲の花を見る会などの自然と触れる活動
- ・ハンカチの藍の生葉染め、ドングリやクズの蔓を使ったペンダント作りなどの自然のものを使い自然の不思議を学ぶ活動
- ・田んぼの生き物調査などの自然調査活動

取組をはじめたきっかけ

副代表は教師ですので、教室での環境教育実践は、「本物を持ち込む」を基本としていました。体験学習としては、夏の夜遊びツアー（夜の雑木林に行きカブトムシを捕ったり、いろいろなものの自然観察）を行っていました。そんな中、学校が変わることになり「先生は、楽しい活動を学校が変わってもするんでしょ。呼んでくれればいきます。」という保護者からの言葉と、「グラウンドワーク川口」が、田んぼ作業を始めるので参加しないかとの呼びかけもあったため、「自然っ子クラブ」を立ち上げました。

これからの展望

見沼の自然を記録していくことを大事にしていきたいと思います。今の自然も、アシ原の乾燥化が進み、アカガエルやトウキョウダルマガエルなどが減ってきています。カエルが少なくなれば、サギや猛禽類など食物連鎖の頂点になっている生きものがいなくなります。そのため、見沼の自然の記録活動を重視していきます。

子どもは卒業しても、お母さんたちが残ってサポーターになってくれています。これからは、卒業生をサポーターに育てていきたいと思います。



夜遊びツアー



原始パン作り

受賞して



今回受賞できたのは、一番に「グラウンドワーク川口」の方々のおかげです。はじめは、ほとんど「グラウンドワーク川口」の活動に参加していました。そして、自然観察会やものづくりの講師も、お願いしていました。そうして、「自然っ子」なりの活動がふくらんで今の形になってきました。たくさんのゲストティーチャーの方々に支えられて、私たちの活動ができていることに、この場をお借りして感謝いたします。